

日本写真測量学会令和元年度秋季学術講演会 プログラム

開催日時：令和元年11月7日(木) 9時35分～18時50分
 18時00分～18時50分 特別講演 「亀井静香83歳の挑戦～再生可能エネルギーの実践～」 亀井 静香 氏 (株式会社ジェイ・エス・エス 代表取締役会長)
 19時00分～21時00分 懇親会 会場：広島市文化交流会館 (アステールプラザ向かい)・「銀河」 参加費 5,000円(学生4,000円)
 11月8日(金) 9時30分～18時35分
 11月9日(土) 巡検
 巡検コース：呉市 (戦艦大和ミュージアム、呉艦船巡り) →昼食→広島市 (縮景園、広島平和記念資料館、原爆ドーム、広島城) →広島駅 (16:30頃解散予定)
 巡検参加費：4,000円 (バス代、昼食、入場料込)

開催場所：JMSアステールプラザ (講演会場・展示会場) URL：http://h-culture.jp/
 〒730-0812 広島市中区加古町4-17 電話：082-244-8000
 学会参加費：正会員 5,000円, 非会員 7,000円, 学生 3,500円(会員・非会員共) (いずれも論文集代含む)

第1日目 11月7日(木)

9:35- 9:45 開会のあいさつ 会長 近津博文

第1会場 (4階・大会議室 AB)			第2会場 (7階・研修室 ABC)		
セッション A	災害・測位	司会 笹川 啓 (国土地理院)	セッション D	リモートセンシング I	司会 小田川信哉 (RESTEC)
9:55-10:15	A-1	GNSS を利用した医学的行動分析に基づく位置推定手法の提案 ○岸本健一・鹿田正昭 (金沢工業大学)・中本理和 (ときわ病院)・その他1名	9:55-10:15	D-1	住民の健康状況把握のためのケニア・ビタ地区の土地被覆分類 ○中村勇斗・皆川 昇・森山雅雄 (長崎大学)
10:15-10:35	A-2	RTK 測位付き UAV 空撮に基づく SfM ～山口町船坂地区における実証実験～ ○浦川貴季・高田雅也 (山口大学)・加賀谷仁秀 (GEO ソリューションズ)・その他2名	10:15-10:35	D-2	DEEP LEARNING OF SATELLITE DATA AND MAPPING OF PLANT COMMUNITIES ○ Ram C. Sharma・Hidetake Hirayama・Keitarou Hara (Tokyo University of Information Sciences)
10:35-10:55	A-3	土砂移動抽出における光学・SAR を併用した精度向上の試み 宮崎景太 (三菱電機)・小野清孝 (JAXA)・○濱口祥輝 (パスコ)・その他3名	10:35-10:55	D-3	Landsat データと地理情報を用いた半乾燥地の潜在地下水の推定 ○岡本勝男・眞弓孝之・茂木 俊 (国土防災技術)・その他3名
10:55-11:15	A-4	LiDAR を活用した「災害査定」における有効性の検討 ○西村正三・野村公平・太田順子 (計測リサーチコンサルタント)・その他2名	10:55-11:15	D-4	気象衛星ひまわりによる可降水量推定手法の検討 ○赤塚 慎 (高知工科大学)
11:15-11:35	A-5	砂防事業等の土砂災害対策事業における計測技術の役割 ○北原一平・畠山直樹・坂島俊彦 (パシフィックコンサルタンツ)・その他1名	11:15-11:35	D-5	DNB 画像の漁火検出のためのノイズ除去手法の開発 ○長谷川大輔・榊原庸貴・望月貫一郎 (パスコ)・その他2名
11:35-11:55	A-6	準天頂衛星の搬送波位相を用いた地震予知システム ○村井俊治・橋田寿宏・谷川俊彦 (地震科学探査機構)			

昼 食

12:40-13:50		ベンダーフォーラム		司会 中西芳彦 (国際航業)			
(発表順) 1. (一財)リモート・センシング技術センター「ASNARO-2の紹介」/ 2. 朝日航洋㈱「新しい家屋異動判読「hail 滅失」のご紹介」/ 3. 日本スペースイメージング㈱「オンラインサービスのご紹介」/ 4. ㈱計測リサーチコンサルタント「近接写真測量草創期における原爆ドーム、慰霊碑への活用」/ 5. (南)空撮ジャパン「パワードパラグライダーでのステレオ写真撮影」/ 6. アジア航測㈱「次世代図化名人の開発」/ 7. ㈱オービティー「モバイル3D スキャナーと写真計測」/ 8. リーグルジャパン㈱「RIEGL レーザースキャニングシステム最新動向」/ 9. ㈱パスコ「グリーンレーザードローンの紹介」/ 10. ライカジオシステムズ㈱「ライカジオシステムズの最新のセンサー紹介」/ 11. 国際航業㈱「新型航空レーザースキャナ計測サービスのご紹介」							
13:50-14:00		休 憩					
セッション B		農業		司会 今村能之 (山口大学)		セッション E	
14:00-14:20		B-1	UAV 空撮画像を用いた水稻の葉面積指数とバイオマスの時系列面的推定 ○関野 良・山口友亮・高野恭平 (東京農工大学)・その他3名	14:00-14:20		E-1	近赤外動画の解析によるブロック化された NDVI を用いた不健康な鉢植え木の区別 ○飛田紘佑・徳永光晴 (金沢工業大学)
14:20-14:40		B-2	UAV を用いた極低層水稻観測手法の検討 ○村井麻里亜 (愛媛大学)・大野宏貴 (愛媛県立伊予農業高等学校)・石田圭佑 (ウインズ)・その他2名	14:20-14:40		E-2	3次元点群データにおけるボクセル化を利用した衛星 LiDAR 受信信号シミュレーションに関する研究 ○神尾佑馬・石橋良太・梶原康司 (千葉大学)・その他1名
14:40-15:00		B-3	ドローン搭載マルチスペクトルセンサを用いたスマート農業のための水稻モニタリング ○小田川信哉・瀬口大介・奥村俊夫 (RESTEC)	14:40-15:00		E-3	国際宇宙ステーション搭載植生ライダー (MOLI) 観測波形シミュレーターの開発 ○三橋 怜・澤田義人・林 真智 (JAXA)・その他7名
15:00-15:20		B-4	PALSAR-2後方散乱係数を利用した排水不良水田検知 ○星川圭介 (富山県立大学)・竹沢良治 (富山県土地改良事業団体連合会)・松本祥二 (富山県農林水産部)	15:00-15:20		E-4	深層学習を用いた宇宙機用ライダー観測データと衛星画像の融合による広域樹冠高マップ生成システムの開発 ○澤田義人・三橋 怜・林 真智 (JAXA)・その他2名
15:20-15:40		B-5	NDVI に基づいた黔南州植生被覆変化の分析 ○リ テンテイ・石橋良太・梶原康司 (千葉大学)・その他1名	15:20-15:40		E-5	iPLS を用いた分光反射特性によるブナの蒸散速度評価 ○蘭部 礼・小林真也・王 権 (静岡大学)
15:40-15:50		休 憩					
セッション C		インフラ		司会 本間亮平 (アジア航測)		セッション F	
15:50-16:10		C-1	マルチタスク GAN による画像生成に基づく道路標識認識の性能評価 ○林 雨亭・鈴木久美子・武田浩志 (国際航業)・その他1名	15:50-16:10		F-1	レイトレーシングを用いた森林の3次元構造が与える植生指数への影響の把握 ○藤原 匠・竹内 渉 (東京大学)
16:10-16:30		C-2	空隙深度の相違によるコンクリートの表面温度変化 ○氷見和也・徳永光晴 (金沢工業大学)	16:10-16:30		F-2	自然空間を対象とした TLS による樹木の3D モデリングの効率化に関する研究 ○熊崎理仁・國井洋一 (東京農業大学)
16:30-16:50		C-3	橋梁点検におけるテレコミュニケーションシステムの構築について ○小高明彦・木下 渉 (日本インシーク)	16:30-16:50		F-3	衛星観測データによる地上バイオマス推定精度向上に関する研究 ○澤井敦彦・梶原康司・石橋良太 (千葉大学)・その他1名
16:50-17:10		C-4	賀茂鶴酒造煉瓦煙突の保存方針策定のための外観調査 ○安井伸顕・西村正三 (計測リサーチコンサルタント)・高村功一 (歴史的建造物修復コンサルタント)・その他1名	16:50-17:10		F-4	SGLI 火災モニタリングにおける Post-launch 版火災検知アルゴリズムの提案 ○三浦高史・森山雅雄 (長崎大学)
17:10-17:30		C-5	賀茂鶴酒造煉瓦煙突の保存方針策定のための振動調査 ○青木秀敬・青木孝義 (名古屋市立大学)・梅本千佳子 (計測リサーチコンサルタント)・その他2名	17:10-17:30		F-5	地表面温度プロダクト検証のためのフラックスタワー周辺の空間一様性検討 ○森山雅雄 (長崎大学)
17:30-17:50		C-6	橋梁点検においてロボットが撮影した画像から抽出された損傷の精度確認試験 ○木本啓介 (計測リサーチコンサルタント)・黒田 保 (鳥取大学)・藤井 優 (鳥取県)	17:30-17:50		F-6	3元配置分散解析を用いた SGLI-RSRF データ生成の為に地上観測値校正 ○石橋良太・山崎智之・梶原康司 (千葉大学)・その他1名
17:50-18:00		休 憩					
18:00-18:50		特別講演		司会 國井洋一 (東京農業大学)			
		題目 「亀井静香83歳の挑戦～再生可能エネルギーの実践～」 講師 亀井 静香氏 (株式会社ジェイ・エス・エス 代表取締役会長)					
18:50-19:00		移 動					
19:00-21:00		懇親会 会場：広島市文化交流会館 (アステールプラザ向かい)・「銀河」 会費：5,000円 (学生 4,000円)					

第2日目 11月8日(金)

第1会場(4階・大会議室 AB)				第2会場(7階・研修室 ABC)			
セッションG		時系列データ処理 司会 中川雅史(芝浦工業大学)		セッションJ		レーザ計測 司会 四俣 徹(パスコ)	
9:30-9:50	G-1	タクシー軌跡クラスタリングに基づく都市の人口区域及び経路分析 ○談 棚辰・史 中超(東京都市大学)		9:30-9:50	J-1	UAV 搭載型レーザ測深機による河床把握に関する検討 ○早乙女真穂・櫻井由起子・横溝和則(朝日航洋)	
9:50-10:10	G-2	超小型衛星画像を想定した車両密度推定 ○酒井健吾・瀬尾 亨・布施孝志(東京大学)		9:50-10:10	J-2	PointNet の改良による ALB 計測点群データの属性分類 ○小森博也・堀田一弘(名城大学)・金田真一(アジア航測)・その他1名	
10:10-10:30	G-3	高感度汎用カメラにおける走行映像を用いた路面オルソの作成について ○山本遼平・杉森純子(朝日航洋)・近津博文(東京電機大学)		10:10-10:30	J-3	地上型レーザスキャナのデータ特性に関する基礎的研究 ○鷲北昌則・鹿田正昭(金沢工業大学)	
10:30-10:50	G-4	定点観測写真上の被写体の移動経路を地図上に示す手法の検討 ○中國悦子・竹内 渉(東京大学)		10:30-10:50	J-4	地上レーザスキャナを用いた観測時間帯による測定値の変動に関する研究 ○樋口智明・佐田達典・江守 央(日本大学)・その他1名	
10:50-11:10	G-5	エッジ情報を用いた二時期正射画像の自動変化抽出に対する目視判読検証 ○笹川 啓・菅井秀翔・関口泰徳(国土地理院)		10:50-11:10	J-5	手持ちレーザスキャナ計測による数値地形図データ作成の検証 ○榎本みな・對馬冬子・中西芳彦(国際航業)・その他2名	
11:10-11:30	G-6	時系列点群を利用した屋内空間の空間再分類 ○中川雅史(芝浦工業大学)		11:10-11:30	J-6	UAV 搭載型レーザスキャナによる点群の調整に関する基礎的な検討 ○中野一也・田中芳薫・鈴木英夫(朝日航洋)	
11:30-12:15				昼 食			
特別セッション		「広島県の災害に対する空間情報技術の活用」 司会 國井洋一(東京農業大学)		セッションK		画像計測 司会 高橋洋二(朝日航洋)	
12:15-12:35	S-1	原爆ドーム保存管理における空間情報の活用展開 ○西村正三・木本啓介・蔵重裕俊(計測リサーチコンサルタント)・その他1名		12:15-12:35	K-1	SfM-MVS 向け最適撮影計画支援システムのための品質予測指標の改善および撮影不足箇所の推定 ○森谷亮太・金井 理・伊達宏昭(北海道大学)・その他2名	
12:35-12:55	S-2	Sentinel-1データを用いた西日本豪雨における広島県内の洪水地分布推定 ○金本崇志・作野裕司(広島大学)		12:35-12:55	K-2	画像処理による低テクスチャ物体の SfM-MVS 再構成品質向上 ○阿久津啓・金井 理・伊達宏昭(北海道大学)・その他2名	
12:55-13:15	S-3	Landsat-8データを使った西日本豪雨直後の瀬戸内海の低塩分分布推定 ○作野裕司(広島大学)		12:55-13:15	K-3	河道冠水部の UAV 写真測量における水面屈折補正係数に関する検証 ○米原千絵・浦川貴季(山口大学)・小室 隆(海上・港湾・航空技術研究所)・その他3名	
13:15-13:35	S-4	西日本豪雨被災地まき土の分光特性と Landsat-8による土壌水分量推定 ○作野裕司・原田優生(広島大学)		13:15-13:35	K-4	他地区の観測結果を用いた航空機搭載一眼レフカメラの計測精度向上の試み ○阪上雅之・笹川 啓・菅井秀翔(国土地理院)	
13:35-13:55	S-5	山間部斜面の二次災害防止判断に有効なレーザ計測 ○渡辺 豊・福田信行・二谷 卓(ルーチェサーチ)		13:35-13:55	K-5	単写真画像の勾配情報に着目した画像ブレ検出手法の検討 ○久原千賀子・高橋洋二(朝日航洋)	
13:55-14:15	S-6	広島県原爆被災樹木に対する TLS 計測による特徴の把握 ○國井洋一・熊崎理仁(東京農業大学)・鈴木雅和(筑波大学)		13:55-14:15	K-6	橋脚の高密度ポリゴンモデルからのテクスチャ付き3D 簡略モデルの自動構築 溝口知広(日本大学)・○木本啓介・家村享明(計測リサーチコンサルタント)・その他3名	
14:15-14:25				休 憩			
セッションH		MMS 司会 坂元光輝(パスコ)		セッションL		マッピング 司会 布施孝志(東京大学)	
14:25-14:45	H-1	大型除草機搭載型レーザスキャナの計測データの表現手法・活用に関する研究 ○関 晃伸・白井正孝・伊藤 潤(朝日航洋)・その他1名		14:25-14:45	L-1	ETC2.0プローブ情報を用いた新規開通道路の抽出手法の開発 ○菅井秀翔・関口泰徳・笹川 啓(国土地理院)・その他1名	
14:45-15:05	H-2	MMS の曲線部走行時における計測精度に関する基礎的研究 ○藤村大輔(日本大学)・山口裕哉・白石宗一郎(朝日航洋)・その他3名		14:45-15:05	L-2	電子国土基本図(地図情報)を用いた5万分1地図の表現方法の検討 ○田代ゆかり・宮之原洋・新藤昭彦(国土地理院)・その他1名	
15:05-15:25	H-3	道路構造物の変状調査への MMS 活用について ○上島涼太・香山耀平・木下純二(かんこう)		15:05-15:25	L-3	固定翼型 UAV 空撮写真を用いた写真測量の地図更新への活用 ○澤可那子・笹川 啓・阪上雅之(国土地理院)・その他4名	
15:25-15:45	H-4	車両走行軌跡に沿った MMS レーザ点群の可視化 ○高橋元気(国際航業/電気通信大学)・増田 宏(電気通信大学)		15:25-15:45	L-4	一眼レフカメラ等を活用した迅速な被災状況把握に向けた取り組み ○片山理佐子・関口泰徳・笹川 啓(国土地理院)	
15:45-16:05	H-5	スキャンラインの湾曲度評価に基づく MMS 取得点群からの車道境界線抽出 ○本間亮平(アジア航測)・伊達宏昭・金井 理(北海道大学)		15:45-16:05	L-5	河川管理における航空レーザ測深の点群測量について ○浅井亮治・福田明文・渡邊博之(パスコ)・その他1名	
16:05-16:25				休 憩			
セッションI		UAV 司会 高橋元気(国際航業)		セッションM		機械学習 司会 作野裕司(広島大学)	
16:35-16:55	I-1	グリーンレーザドローンに関する基礎的な検証 ○堺 浩一・間野耕司・加山 斉(パスコ)・その他1名		16:35-16:55	M-1	機械学習による作物単収予測モデルの高精度化 ○坂本 利弘(農研機構)	
16:55-17:15	I-2	UAV を用いた水鳥の撮影と機械学習を用いた自動カウント ○小川健太・大川文也(酪農学園大学)		16:55-17:15	M-2	深層学習による新築建物検出手法の検討 ○蘇 姝・縄田孝彦・布施 健(朝日航洋)	
17:15-17:35	I-3	UAV 搭載カメラ複数同時撮影による精度比較の考察 ○梶原康司・本多嘉明・村木広和(MORALS)・その他11名		17:15-17:35	M-3	深層学習を用いた航空写真からの小物体領域の抽出 ○橋本寛治・林 雨亭・鈴木久美子(国際航業)・その他2名	
17:35-17:55	I-4	UAV 飛行経路設計の為の加速度変動を考慮した軌道最適化法 ○石橋良太・山崎智之・梶原康司(千葉大学)・その他1名		17:35-17:55	M-4	Conditional GAN を活用した石垣画像からの石材抽出手法の改良 ○坂元光輝・篠原崇之・李 勇鶴(パスコ)・その他1名	
17:55-18:15	I-5	ドローンに搭載可能な合成開口レーザ装置の開発 ○出口知敬・杉山智之・岸本宗丸(日鉄鉦コンサルタント)		17:55-18:15	M-5	深層学習による航空レーザ点群フィルタリング手法の検討 ○四俣 徹・坂元光輝・佐藤俊明(パスコ)	
18:15-18:35				閉会のあいさつ 副会長 清水英範			

JMS アステールプラザ



【アクセス】

JR 広島駅から車で約 15 分（平和記念公園より車で約 3 分）

JR 広島駅から路面電車の場合：

広島港行（紙屋町経由）→「市役所前」下車後約 600m

江波行→「舟入町」下車後約 400m

JR 広島駅から広島バスの場合：

24 号路線吉島営業所行または吉島病院行

→「加古町」下車後約 200m

JMS アステールプラザ

〒730-0812 広島市中区加古町 4-17

電話：082-244-8000

<http://h-culture.jp/>